

# 出張医学教育FD (厚生連篠ノ井総合病院)

【日時】 平成25年9月30日18時00分～18時30分

【場所】 厚生連篠ノ井総合病院

【参加人数】 42名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

・CBT/OSCE等についての説明 等

○信州大学における今後の臨床実習

・150通りの選択肢からなる

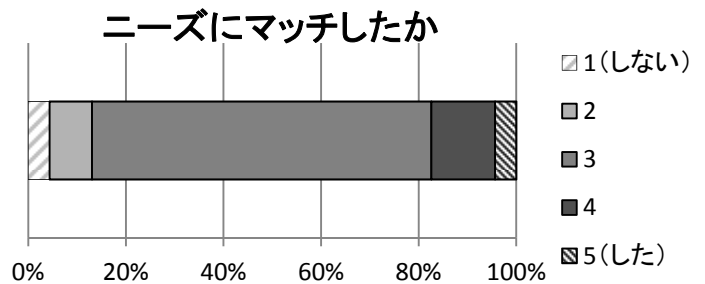
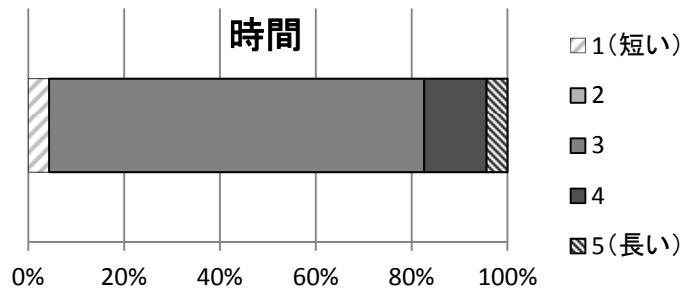
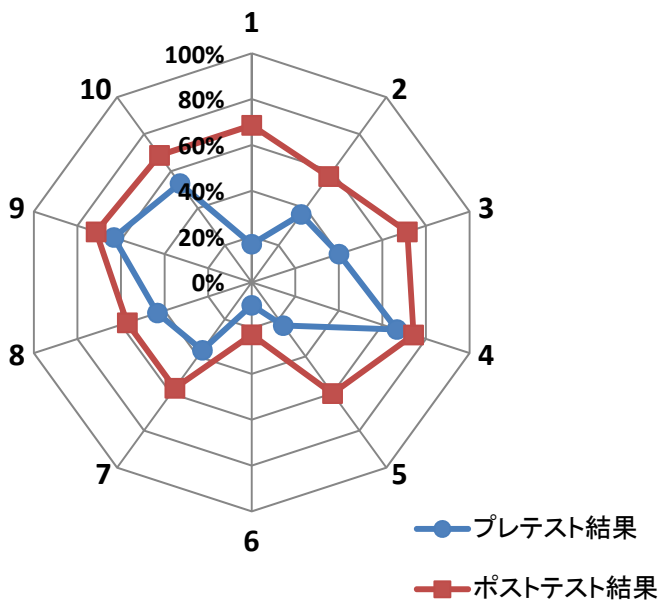
参加型臨床実習について

・評価の重要性について

○DVD映像で見る参加型臨床実習



医学教育についての理解度



## 参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
(参加型)臨床実習のやり方	学生の扱い方	実際にスムーズにできるかが問題である。
学生とコミュニケーションをとりながら質疑を行う必要がある。学生と指導側共にある程度の余裕が必要。	十分に力がつかなかった学生に対しては、どこが責任を持って対応するのか。	平成14年損害賠償事件についての詳細が分からず。被害者がピアニストなど損害賠償となったのは何らかの理由があった特殊なケースなのではないか。
学生が大変だということ。指導側も大変だということ	患者への同意の取り方	どこまで篠ノ井病院に求められているのか詳しく知りたい。
話/説明させるべきということが驚きだった。	能力別に教育するのは難しい。	実際の臨床に支障をきたさない範囲でできるかどうか不安
クリクラの日本での現状	拒否への対応	
学生と研修医の違い	積極的でない学生にも同じ対応ができるか心配。	
学生教育は手間がかかる		
学生の医行為		
実習を中心とした教育の充実を図りたいという姿勢は理解できた。		